



代沢っこだより

令和7年6月1日発行

代沢ききょう保育園
澤原 満美



6月の予定

- 5日 身体測定 すみれ 幼児
- 6日 身体測定 ひなぎく たんぽぽ
0歳児健康診断 予備日20日
- 7日 幼児クラスプールの蓋開け
- 9日 ききょう遠足
(はまぎんこども宇宙科学館)
たんぽぽ保育参加(～23日まで)
永福学園実習(～20日まで)
- 11日 おたのしみの日
- 12日 プール開き
- 13日 荒馬座ワークショップ
- 24日 ゆり保育参加(7/8まで)
- 26日 誕生会食(幼児クラス)



満員御礼



アリの観察中

ききょう遠足

羽根木公園まで歩いての遠足
片道40分かかりましたが、行き
帰りともがんばって歩きました。
「迷路のところにいきたい!」
「次はあっち!」とよく知っている
子が多かったです。ぐるぐる回る遊
具は、「下りる! 回す! まだ待つ
て!」となかなか回すまでに時間
はかかりましたが、気持ちを一つに
なるまでこちらは見守ります。
一番のたのしみのお弁当は、羽根
木子ども園さんにお邪魔いただき
ました。次回は年長さんと交流を
したいと思います。

言葉の変換・チョイスについて

お子さんは、脳の発達が著しく、言葉の獲得も日々アップグレードされていきます。周りの大人の話し方やコミュニケーションの取り方をよく見えています。テレビやネットでも様々な言葉があふれています。どんどん吸収していきますが、その言葉をどう使うかを学んでいく上で、周りの環境はとても重要だと思っています。保育園では、否定的な言い方ではなく、肯定的な話し方を心がけています。「ダメ! やめて!」ではただ行動を否定されただけになってしまいます。走らないで → 歩こうね。何度言ったらわかるの → ○○しようね/どうしたのかな? など言葉を次の行動に変換したり、子どもに寄り添う言葉をかけられるよう意識しています。大人はきちんと、すぐになどよく使いますが、抽象的な言葉は伝わりにくかったりしますので、わかりやすい言葉で伝えていきたいですね。

保育参加がはじまりました

すみれさんから保育参加がはじまりました。お子さんと一緒に裸足で砂遊びを。子供達は、たのしそうに遊ぶ保護者の傍に行って話しかけたり、真似をしてみたりして興味津々です。その様子を遠巻きに見ているお子さんもいます。

なぜ保育参加があるの?

- ①お子さんが普段どんな様子で過ごしているのか
- ②保育士がどんな風にお子さんに関わっているのか
- ③お子さんの成長や、保育で大切にしていることを共有する

などなどです。是非保育参加中には、子どもに戻ったつもりで、一緒にあそんで楽しさを共有し、また疑問がありましたら、職員に聞いてくださいね。



一緒に見よう!

レモンの木にいたあおむしを飼いはじめました。葉っぱを食べる様子を二人で観察。日々観察することで、大きくなったことにも気づきます。チョウになる日が待ち遠しい様子です。スマイルキッズ下北沢さんから分けていただいたカブトムシ8匹もすくすく育っています。カブトムシの体の色が変わって来たなど、発見したことを友だちや保育士に知らせにきます。あおむしもカブトムシも短期間で変化がわかりやすく良いですね。生き物を飼うことで、自然への興味や関心、生き物に対しての親しみの気持ち、そして子ども同士のコミュニケーションが育まれます。